

『ダメ、ダメ』から『やれるかも』 ～河川空間で営業活動も～

- 平成23年、規制緩和により民間事業者による河川空間での長期的な営業活動が可能に。
- 一方、長年『ダメ、ダメ』と言われ続けたことにより、河川は使えないという意識が市民に根深く残る。
- 天竜川では、社会実験を行いこれまでにない天竜川の利活用に挑戦することにより、営業活動も含め自由に創造的に河川を使う文化の形成を目指す。

平成30年度

- ・天竜川初の社会実験
 - ・シクロクロス、ドローンスクール、お茶の販売の3社が参画
- 天竜川の新しい風景を創出
→広大な敷地での密度の作り方に課題

令和元年度

- ・対象エリアに柔軟性を持たせて募集
 - ・シクロクロス、ドローンスクール、マルシェ、バーベキュー、電動航空機の5社の参画が決定
 - ・**参画者、随時受付中!**
- 収益性からの営業活動の可能性や、一時的なものから長期的なものまで河川利用の可能性拡大等を検証予定



シクロクロス大会開催時にはキッチンカーも出店 (H30)

➡ 一定のマナーを有しやりたい人がやりたいことをハードルなくできる川、時間、用途など多様な利用が生まれる川を目指し、河川管理者である浜松河川国道事務所は全力でサポートします。